

車輜情報が一元管理できる「車輜管理システム」をグループ会社にも導入しました

2019年1月18日

福岡運輸株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 富永泰輔、以下「福岡運輸」）は、2017年4月より稼働開始しておりました「車輜管理システム（自社開発）」での車輜管理をグループ会社にも拡大することといたしました。

今後はグループ会社の車輜情報・稼働状況・点検整備情報を一括管理し、包括的な車輜管理体制の構築、整備基準の統一化による更なる品質の向上に努めてまいります。

1. 車輜管理システム導入の経緯

グループ各社で行ってきた車輜の調達窓口を一本化する上で、各社の車輜情報が個別管理となっており仕様が把握しづらい状況にありました。

また、車両の適正管理を行う上でも、各社の管理方法が異なり情報と業務の属人化が問題となっておりました。

そこで、福岡運輸にて稼働している「車輜管理システム」でグループ各社の車輜も管理することで、企業間を横断して車輜の仕様・整備状況・稼働状況を一元管理できる環境の構築を進めることになりました。

2. 車輜管理システムの概要・特徴

◆ システムの概要

車 輜 管 理 シ ス テ ム	車体管理
	●車体の基本情報登録管理（車体情報・規制運用・付属設備） ●車輜契約情報（契約、リース契約情報、保険等）
	整備管理
	●車体・装備の整備計画・実績管理（定期点検・交換・適時交換情報登録） ●次回点検一覧
	走行情報管理
	●走行に伴い発生する情報の登録・管理（走行距離・給油量・冷凍機稼働時間） ●走行情報その他メーター情報
リコール情報管理	
●リコール情報の登録・管理（一括登録・該当車照会） ●リコール情報検索	

◆ メリット

① 情報の共有化

誰もが・いつでも・どこでも、様々な車輛情報にアクセスできる。

② メンテナンスの適正化

車輛整備基準を設定し整備目安の予測を行うことで漏れやバラつきを防ぎ、メンテナンスの適正化を図ることができる。

③ 法令順守

配車システムと連携し、点検・修理予定を配車画面に表示することで、配車担当者にもメンテナンス通知が徹底される。

④ 車輛情報の蓄積

車輛の異動・点検履歴・修理履歴・事故履歴・走行距離・燃費等の各種データを蓄積することで、包括的な車輛情報の管理や点検整備予測の精度向上が見込まれる。

3. 今後について

今後は車輛管理システムの管理対象をグループ企業にも拡大すると共に、整備データや稼働データと AI を組合せることで、車輛の点検/整備予測や車輛の代替計画に活かすなど活用の幅を広げていく予定です。